

かくれ統計家

真の統計家を求めて、人生の旅に出てから何年が過ぎ去っていったのか。もはや、この世に統計家はいなくなってしまったのか。それとも、自分自身でかたくなに形作ってしまった統計家の定義が、あまりに演繹のすぎたのか。

少なくとも統計家とは次の3つの条件を満たしてはいけな

- ① 自らデータを収集すること。
- ② データを取捨選択し、分析すること。
- ③ 結果が現実への適用に対して有効性を持つこと。

最も可能性があるとと思った(学)の空間ではどうだ。数字、数式を遊び、余りに②に重点を置き過ぎている。①は他に頼り、③には背を向けている人の多いこと。

それでは、統計を職業とする多くの個人を抱えた組織ではどうだ。①は良くやっている、感心のあまり、我れをして震えさせしむ。しかし、②になると少し躓く。③は形式的だ。

他の場所でも大同小異であった。そして、最も悲しむべき発見は、統計場がその空間的性質として、個人の存在よりも全体としての組織にウェイトを置くということであった。

とうけいの しもへりかけて こえくれば
あるもさざんか ひとりかむなし

新宿のガード下は、依怙地に薄暗く、太陽への限りなき反抗を示していた。そして、リズム感を失った列車の騒音が耳から去ると同時に、運命的声が私に迫ってきた。「十年間のデータを集めて、毎日、毎日、研究に研究を重ねて、ついに必勝法を発見したよ。なんていったって、明日のレースに出走する馬が自分の着順を知りたくて、この本を買いに来たっていうんだから……。」

これは？ 集めて(=収集)、研究(=分析)、必勝法(=現実への有効性)。これこそ正に、私の統計家の定義そのものではないか。こんな場所で、真の統計家を発見するとは、これを奇蹟と言わずして、何を奇蹟と言えよう。せいぜい二次曲線美の軌跡位であろう。

私は大枚二万円を出し、その声の主から一冊の本を買い、場外馬券売場に吸い込まれていった。その結果は、馬券代二万円+本代二万円の計四万円の損失という唯物論的な敗北であった。あいつは真の統計家ではなかったのか？ しか

し、その考えはG・馬場の十六文キック一発でふっ飛んだ。「3-4」「4-7」「4-8」と3点買って、抜け目の「4-5」が来たからといって、簡単に結論を出してはいけない。統計学を駆使した経済分析よりも予測としては正確ではないのか？ 次に、A・猪木の卍固めが、がっちりとした。レフリーの顔を見た時、私の頭の花辺から爪先にまで戦慄が走った。ネバー・ギブアップ！私がかかった。自分でやらなくてはいけないのだ。私の出発点であった真の統計家を求めるということ自体に私の敗北が内在していたのである。私は自ら困難を克服して、統計家にならなくてはいけなかったのだ。(なんというワンパターン物語、涙)

さっそく私はデータの収集のため、四季報、血統事典、週刊誌、専門紙、スポーツ新聞を買い漁り、読み漁った。次に分析だ。まずは計量経済学の手法を導入しようとしたが、費用と時間の点で問題があったので、ウェイトを自己の内観にまかして、一応、積み上げ型のモデルを作成した。最後に現実への適用と有効性の証明とばかりに、貯金をおろし、土・日と毎週のように競馬場に行ったのである。

七転八倒、四面楚歌、勝ちたい気持ちはままならず、色即是空、空腹絶食、あ一無情のレ・ミゼラブル。

一番高いスタンドの席から、競馬場の全景を見渡す時、やはり一番目につくのは、真下に群がる自称統計家と彼らに絡み付く外れ馬券の舞である。私の失意はマリアナ海溝よりも深く、希望はパミールの彼方に飛んでいってしまった。その時、カール・ゴッチのジャーマンスープレックが決まり、試合は一瞬にして終わった。本物！自分で売り出したりはしない。知る人も知らないかもしれない。真下にいる一万人以上の中に、ほんの一人か二人いるかいらないか。そうか！真の統計家は自分の成果を人に吹聴したりはしない。ただ静かに、真理を見つめるだけだ。だから、表に出てこないのだ。捜しても見つからず、なろうとしても、いつなったかどうかも分らない。そういった人こそ、真の統計家。正に、かくれ統計家なのだ。

おかくれば やまはかなくて かみたれの
いつとはなくに どこにもかしこ

…… 了 ……

(統計課・藍田利弘)

【新着資料案内】

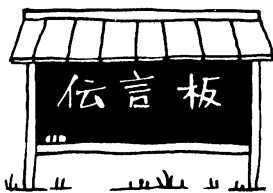
この資料は、昭和56年8月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。

行政資料室 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線2668)

行政資料室	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央官公庁関係		茨城県関係	
昭和54年 全国消費実態調査報告 第1巻 家計収支編 その3,その4,その5	総 理 府	利根川水系水質汚濁実態調査報告書	公害対策課 利根川流域部会
第2巻 品 目 編 その1	”	昭和56年 コンピュータのあゆみ	情報管理室
第5巻 世 帯 分 布 編	”	茨城県の人口動態と転入人口の構造	企画調整課
第6巻 単 身 者 世 帯 編	”	茨 城 県 の 第 3 次 産 業 (実態と振興施策の方向)	”
昭和55年 国勢調査抽出速報集計結果 その 1, 2	”	県 民 便 利 帳	広 報 課
昭和56年版 交 通 安 全 白 書	”	昭和55年度 物価安定対策事業の概要	総合県民室
昭和56年版 観 光 白 書	”	精神薄弱者援護施設20年の歩み	障害福祉課
昭和55年 増 加 図 書 年 報	”	昭和56年 事 業 計 画 書	保 險 課
1980年版 OECD諸国の消費者物価指数	”	昭和56年 国民年金事業年報	国民年金課
昭和55年 労働力調査年報	”	昭和54年 茨城県衛生統計年報	医 務 課
日本標準職業分類五十音索引表	行政管理局	昭和55年度 保健婦活動状況	”
昭和56年版 防 災 白 書	国 土 庁	昭和56年版 求人から採用まで	職業安定課
昭和56年版 国 土 利 用 白 書	”	昭和56年度 茨城県年次雇用計画	”
昭和54年度版 関東信越国税局統計書	関東信越国税局	茨城県農用地高度利用促進対策事業要綱要領集	農政企画課
昭和55年度 我が国の教育水準	文 部 省	昭和56年 茨城県果樹農業振興計画書	流通園芸課
昭和54年 保健衛生基礎調査 (心身の健康)	厚 生 省	農業者の健康状態と改善対策	改良普及課
昭和54年度 人 口 動 態 統 計	”	住 み よ い む ら づ く り	”
昭和54年度 伝染病及び食中毒統計	”	昭和56年 農業改良普及事業の概要と実績	”
昭和54年 医師、歯科医師、薬剤師調査	”	鬼怒川地域森林計画書	林 政 課
昭和54年度 人口動態社会経済面調査 報告、高齢者死亡	”	地 域 森 林 計 画 書	”
昭和54年 国民健康調査	”	霞ヶ浦、北浦の水産	霞ヶ浦、北浦水産 事務所
昭和54年 患 者 調 査	”	茨 城 県 土 木 概 要	監 理 課
昭和54年 医療施設調査病院報告	”	1980 茨 城 の 犯 罪	警察本部刑事総務課
第6次 漁業センサス 総括編、参考資料	農 林 水 産 省	昭和55年版 茨城県地方労働委員会年報	地方労働委員会
昭和54年 生産農業所得統計	”	県内市町村関係	
1980年 世界農林業センサス結果概要	”	統 計 つ ち う ら	土 浦 市
昭和54年 工芸農作物等の生産費	”	昭和55年 市 民 所 得	”
昭和55年 水産物流通段階別価格形 成調査報告	”	昭和55年度版 下館市の統計	下 館 市
1980年 世界農林業センサス 農業集落調査報告書	”	勝 田 市 史 近代、現代編II	勝 田 市
昭和56年版 農 林 水 産 統 計	”	昭和55年度版 統計 い わ い	岩 井 市
昭和55年 作 況 試 験 成 績 書	関 東 農 政 局	第 3 号 那 珂 町 史 の 研 究	那 珂 町
昭和56年版 中 小 企 業 白 書	中 小 企 業 庁	第 9 号 大 子 町 史 研 究	大 子 町
		新 総 和 町 総 合 振 興 計 画	総 和 町

【新着資料案内】

統 計 資 料 名	発 行 所 (者)	行 政 資 料 名	発 行 所 (者)
都道府県関係			
昭和54年 福島県就業構造基本調査報告	福島県調査統計課	昭和55年度 京都府の農林業(上)	京都府統計課
昭和55年版 栃木県統計年鑑	栃木県統計課	昭和54年度 京都府民所得	〃
昭和55年版 統計からみた群馬の経済	群馬県統計課	昭和55年 大阪府人口移動集計	大阪府統計課
昭和56年刊行 第27回群馬県統計年鑑	〃	昭和56年版 毎月勤労統計調査地方調査年報	〃
昭和53年度 市町村民所得統計表	〃	昭和54年度 大阪府民所得統計	〃
昭和55年版 千葉県勢要覧	千葉県統計課	昭和54年度 兵庫県民所得	兵庫県統計課
昭和55年 千葉県統計年鑑	〃	昭和55年 島根県鉱工業生産指数	島根県統計課
昭和55年版 千葉県毎月常住人口調査報告書	〃	昭和55年 福岡県鉱工業指数	福岡県調査統計課
昭和56年版 数字で見た東京	東京都統計部	1980年 長崎県農林業センサス結果報告書	長崎県統計課
神奈川県の人口 昭和55年国調結果(概数)	神奈川県統計管理課	昭和56年 大分県のすがた	大分県統計課
昭和55年版 統計からみた神奈川県経済の動向	〃	昭和55年 大分県の賃金労働時間雇用	〃
昭和55年 大型小売店統計調査結果報告	〃	昭和55年 県内主要経済指標の動向	沖縄県統計課
昭和55年 新潟県の雇用、賃金の動き	新潟県統計課	昭和55年 沖縄県鉱工業指数	〃
昭和55年 毎月勤労統計調査地方調査年報	石川県統計情報課	公社・会社・団体等関係	
昭和54年度 県民所得統計報告	山梨県統計課	昭和55年度 茨城県における地域振興方向	茨城県商工連合会
1980年 山梨県農林業センサス結果報告	〃	関東地域光化学オキシゲント広域解析調査	関東地方公害対策本部
昭和54年度 長野県の県民所得	長野県情報統計課	茨城県光化学スモッグ予報	(財)日本気象協会
昭和55年版 三重県勢要覧	三重県統計課	大気汚染濃度予測手法のシステム化の開発研究報告	〃
滋賀県地域メッシュ統計報告書	滋賀県統計課	県産品市場開拓調査報告書	(財)常陽産業開発センター
昭和55年 毎月勤労統計調査特別調査結果	京都府統計課	水戸西流通センター(仮称)基本計画調査報告書	〃



県庁の電話内線番号が

10月12日から4ケタに変更されます

増加の一途をたどっている電話需要に対処し行政サービスを向上させるため、県では電子交換機の導入工事を進めていましたが、10月12日(月)開通の運びとなり、これに伴ない同日から県庁の内線番号が4ケタに変更となります。

統計課関係は下記のとおりです。

なお、県庁代表電話番号及び統計課直通番号には変わりありません。また、代表電話からの交換手を通じての内線呼出し方法も従来と同じです。

統計課内線番号

(代表) 21-8111・(直通) 21-5505

課長	2650	商工	2660
庶務	2651	〃	2661
統計指導	2652	農林経済	2662
企画分析	2653	〃	2663
人口労働	2654	行政資料室	2668
〃	2655	分室	2669